



平成25年12月18日

理工系学部で全国1位の就職率，環境理工学部

「週刊東洋経済」（東洋経済新報社、2013年11月2日号）に掲載された2013年就職率ランキングにおいて、98.4%の就職率を達成した本学環境理工学部が理系学部の全国9位、中四国1位にランキングされました。また、「週刊ダイヤモンド」（ダイヤモンド社、2013年10月12日号）では理・工・農・獣医系学部の全国1位となり、「環境関連の技術者を輩出する岡山大」として紹介されました（資料1）。本年だけが突出しているのではなく、2009年以降は5年連続で理系学部の全国25位以内、中四国3位以内を維持しています（資料2）。これは、長い時間をかけて継続的に学部独自に取り組んできた学生支援の成果と言えます（資料3）。

本学の環境理工学部は、環境科学分野の知識を系統的に学び、問題解決能力を備えた人材の育成を行うことを目的とする学部で、1995年に一期生を迎えました。環境学は学際的で文理融合の学問ですので、学部設置当初は卒業後のキャリアデザインの多岐・多様さに戸惑う学生が少なからず見受けられました。そこで、単なる就職支援に留まらず、入学時から段階的かつ長期継続的にキャリア形成支援を行うことが必要と考え、2006年に国立大学では初めての学部独自の試みとしてキャリアサポート室を開設しました（資料3）。教員とキャリア・コンサルティング技能士の資格（国家資格）を有する相談員を配置し、学生の就職や進路などについてきめ細かく支援を行うとともに、生活面などの悩み相談にも応じています。さらに、1,2年生対象のキャリア教育科目を担当するなど、学部の教育にも協力しています。また、学部の就職担当教員と連携しながら、就職支援および求人やインターンシップ情報の伝達などを行っています。

2004年以前は就職率が80%を下回る年もありましたが、キャリアサポート室の設置後は90%程度に上昇し、2009年以降は95%以上と高い水準を維持しています（資料2）。現在、キャリアサポート室を訪れる学生数は年間で延べ1000人程度です。この中には、大学院生や他学部の学生、さらには卒業生も含まれています。環境理工学部では、日本技術者教育認定機構（JABEE）などの外部評価を受審するなど、カリキュラムの継続的な改善に取り組んできました。また、充実した実践型環境教育プログラムを提供することにより、即戦力として活躍できる人材の育成に注力してきました（資料3）。この際、単に就職率の向上を目指すのではなく、卒業時無業者（進学も就職もしなかった者）を極力発生しないよう努めてきました。このように、キャリアサポート室のみならず学部全体で、地道かつ継続的に学生支援活動に取り組んできた成果として、理工系学部で全国1位の就職率を達成することができたと言えます（資料1）。

【補足】「週刊東洋経済」「週刊ダイヤモンド」誌の就職率は就職者数÷（卒業生数－大学院進学者数）で算出された値です。一般に、大学が公開する就職率は就職決定者数÷就職希望者数で、進路未定者は含みません。

＜お問い合わせ先＞

岡山大学環境理工学部

キャリアサポート室

(TEL & FAX) 086-251-8847